



大学図書館問題研究会京都地域グループ 第 43 回京都地域グループ総会を開催しました

大図研京都地域グループ会員の皆様へ
地域グループ総会を下記のとおり開催いたしました。

記

日 時：2020 年 8 月 7 日（金）
総 会：19:00～20:00
会 場：オンライン開催（Zoom）

次ページより、当日議決されました、以下の議案と、当日の議事メモ・補足事項を掲載しておりますので、ご覧ください。

【第 1 号議案】

2019/2020 年度（2019.7～2020.6）活動総括及び
2020/2021 年度（2020.7～2021.6）活動方針

【第 2 号議案】

2019/2020 年度（2019.7～2020.6）決算案及び
2020/2021 年度（2020.7～2021.6）予算案

【第 3 号議案】

2020/2021 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ役員

[目 次]

大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会を開催しました	…	1
大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案	…	2
第 1 号議案	…	2
第 2 号議案	…	5
第 3 号議案	…	7
議事メモ・補足事項	…	7
会費ご納入のお願い	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com （大学図書館問題研究会京都地域グループ）

URL：http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm

大学図書館問題研究会京都地域グループ

第 43 回京都地域グループ総会議案

【第 1 号議案】

2019/2020 年度(2019.7～2020.6)活動総括及び 2020/2021 年度(2020.7～2021.6)活動方針

1.2019/2020 年度総括

(1) 研究交流活動

1) 企画担当スタッフの強化

2019/2020 年の取り組み強化として、企画担当スタッフ 1 名を目標通り増強しました。

2) 実施した企画

名称：「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」

日時：2019 年 10 月 27 日（日）

会場：京都府立図書館 2 階ナレッジベース

参加者数：28 人

メディアドクター研究会（医療に関するメディア報道のあり方を勉強する会）の協力を頂きながら、開催しました。記事を読み、信頼性、科学的根拠（エビデンス）、見出しの適切性など、情報を読み解く力・見極める力・伝える力を身につけるために、私たちにどのようなことができるでしょうか。さまざまな立場の方が、話し合い、語らいながら医療や健康情報について考えることができました。

3) 新型コロナウイルス拡大防止の影響

「DH でかわる大学図書館の研究支援（仮）」を立命館大学アトリサーチセンターのご協力も得て、3 月末に開催の準備をし、いざ情宣を開始しようとした段階で、今回の新型コロナウイルス騒ぎで、急遽開催を中止といたしました。準備に携わった多くの関係者の方々に、この場を借りてお詫び申し上げます。また本来なら 6 月～7 月に開催を予定していた企画も、この新型コロナ拡大防止関連で十分な議論もできないまま今に至っています。

一昨年、企画が十分にできていないことが京都地域グループの多くの取り組みに少なからず影響があることがわかり、しっかりとした取り組みをする予定でしたので残念です。

(2) グループ報

2019 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました。大幅な発行遅延やそれに伴って合併号として刊行する号がありました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合する必要のあるグループ報発送作業を停止し、グループ報 No.334-335 合併号および No.336 号については、電子的送信を行いました。

2019 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.331 (2019/08/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 42 回京都地域グループ総会議案
- ・第 1 号議案
- ・第 2 号議案
- ・第 3 号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費ご納入のお願い

2) グループ報 No.332 (2019/10/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」終了しました
- ・グループ委員 挨拶
- ・会費ご納入のお願い

3) グループ報 No.333 (2019/12/15 発行)

- ・大図研京都地域グループ忘年会 終了しました
- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都：iPS 細胞と臨床試験」参加記 (川野 眞樹)
- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」参加報告 (前田 貴代)
- ・会員名簿情報ご確認のお願い
- ・会費ご納入のお願い

4) グループ報 No.334-335 (2020/2/15-2020/4/15 発行)

- ・第 51 回 全国大会のオンライン形式での実施について (お知らせ)
- ・図書館外にあるラーニングコモンズの環境作り?電子コンテンツの活用事例 (安東 正玄)
- ・遠隔授業における著作権について
- ・会員名簿情報ご確認のお願い
- ・会費ご納入のお願い

5) グループ報 No.336 (2020/6/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案
- ・会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトに、イベントのお知らせや、グループ委員会の報告等、グループ活動の記録を掲載しました。また、グループ委員で使用しているグループウェアのサービスの終了を受け、代替のグループウェアを検討し、移行しました。

メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no. 266 (2019 年 8 月 2 日) から no.269 (2020 年 5 月 8 日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。さらに Twitter の活用を図り、755 アカウントのフォロワーを得ています。

忘年会やワンディセミナーの告知、グループ報発行の広報を行うとともに、他の地域グループのツイート等も積極的にリツイートいたしました。

(4) 組織活動

52名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。

2019/2020年度は退会者が2名、また新規入会者は0名でした。

ワンディセミナーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めましたが、引き続き次期に課題を残す結果となりました。

(5) 財務

今年度は活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しましたが、新型コロナウイルス感染症によるセミナー企画延期など執行が進みませんでした。

また、グループ報の電子的送信など発送経費が圧縮されました。

(6) 広報とデザイン

大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS細胞と臨床試験」のポスターを作成し、Webサイトを活用して広報・周知に努めました。

2. 2020/2021年度活動方針

(1) 研究交流活動

会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。

勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年2回程度は開催できるようにします。

ウィズコロナ（アフターコロナ）も考慮し、Web会議方式での開催も検討していきたいと思います。また、新型コロナウイルスの影響で開催中止となった企画についても、再度調整をしていきたいと思います。

(2) グループ報

グループ報編集担当だけでなく、グループ委員会全体で年間の発行スケジュールを計画し、紙面構成や特集、連載記事の企画を検討します。定期発行を心掛けるとともに、引き続き広く寄稿を求め、今後も、会員の皆さまへの情報提供・会員間での情報共有を目標とし、内容の充実に努めます。

(3) Webサイト、メーリングリスト、メールマガジン

Webサイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報や電子化されたグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

また、メールマガジンについて、2019/2020年度は定期的なNews Letterの配信が滞ってしまいましたので、配信の内容やタイミングについて検討するとともに、より読まれるような内容にする工夫を継続いたします。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに広報活動の一環としてTwitterアカウントの積極的活用を継続します。

(4) 組織活動

ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS等を通じ、京都地域の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都地域グループに在籍していることにより一層価値が見いだせるような活動を行います。特にウィズコロナ（アフターコロナ）を考慮し、集合しなくともグループに所属しているメリットを感じられるような活動を推進します。

(5) 財務

今後も活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上します。また、執行が遅れております事業の執行を促します。

ウィズコロナ（アフターコロナ）を考慮し、Web会議方式での開催によるセミナー会場費等の見直し、グループ報の電子的送信など経費に関わる部分の検討を進めます。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続きポスター・チラシ作成等の広報活動に努めます。今後も特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

【第2号議案】

2019/2020 年度決算案 (2019.7～2020.6)

(単位:円)

総収入	総支出	差引残高
594,994	107,258	487,736

■収入

項目	予算	決算	差引額
前年度繰越金	484,492	484,492	0
前納会費	84,000	2,000	-82,000
未納会費	32,000	82,000	50,000
地域グループ助成金	18,000	18,000	0
セミナー参加費	10,000	8,500	-1,500
大図研出版物支部卸頒布	5,000	0	-5,000
利子	1	2	1
合計	633,493	594,994	-38,499

■支出

項目	予算	決算	差引額
会報	60,000	27,258	32,742
研究交流会費	250,000	80,000	170,000
大図研出版物支部卸購入	3,080	0	3,080
事務費	10,000	0	10,000
地域グループ委員会活動費	10,500	0	10,500
特別事業費	20,000	0	20,000
予備費	279,913	0	279,913
合計	633,493	107,258	526,235

2019/2020 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2020年8月7日

今野創祐 (印)

2020/2021 年度予算案 (2020.7~2021.6)

(単位:円)

□収入

項目	
前年度繰越金	487,736
前納会費	102,000
未納会費	8,000
地域グループ助成金	18,000
セミナー参加費	10,000
大図研出版物支部卸頒布	5,000
利子	2
合計	630,738

□支出

項目	
会報	60,000
研究交流会費	250,000
大図研出版物支部卸購入	3,080
事務費	10,000
地域グループ委員会活動費	10,500
特別事業費	20,000
予備費	277,158
合計	630,738

決算

※今年度は支出が少なく、繰越金が増加しました。

※会報は合併号があったこと、予定より発行が遅れたこと、新型コロナウイルス対策としての電子的な送信により予算より決算が少なくなりました。

※研究交流会費を執行しました。会場料金が不要だったことやセミナー回数が予定より少なく、予算より決算が少なくなりました。

※グループ会員増のため、特別事業費を計上しましたが、新規学生会員はありませんでした。

※大図研出版物支部卸購入がありませんでした。

※事務費の内訳は主に事務用品ですが今年度は購入しませんでした。

予算

- ※前納会費 51 名(51 名@2000 円)、未納会費 4 名分(4 名@2000 円)
- ※会報は電子的な送信を検討しつつ、前年度どおり印刷費 (20,000 円) /送料 (40,000 円) を計上します。
- ※活発な研究交流会を行うため今年度どおり研究交流会費として計上します。
- ※ウィズコロナ (アフターコロナ) を考慮し、Web 会議方式での開催によるセミナー会場費等を見直します。
- ※来年度も会員増のため特別事業費を設定しています。
- ※グループ委員会の会場費として継続してグループ委員会活動費を計上します。無料の会場を利用できない場合使用します。

【第 3 号議案】

2020/2021 年度大学図書館問題研究会京都地域グループ運営委員

グループ委員(50 音順)

安東	正玄	(立命館大学法学部事務室)
内田	栞	(京都大学附属図書館)
坂本	拓	(国立民族学博物館図書室)
長坂	和茂	(京都大学桂図書館)
野間口	真裕	(京都教育大学附属図書館)
原	健治	(同志社大学文学部・文学研究科事務室)
藤谷	篤	(立命館大学図書館委託職員)
山形	知実	(北海道大学附属図書館)
山上	朋宏	(京都大学医学図書館)
山下	ユミ	(京都府立図書館)
若狭	あや	(文部科学省研修生)
鷺津	彩乃	(名古屋大学附属図書館)

監査委員

今野	創祐	(京都大学工学研究科吉田建築系図書室)
----	----	---------------------

全国委員

安東	正玄	(立命館大学法学部事務室)
----	----	---------------

特別グループ委員

赤澤	久弥	(大阪大学附属図書館)
渡邊	伸彦	(京都大学附属図書館)

<大学図書館問題研究会第 43 回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

参加者：8 名

会員の皆様にグループ総会当日の様子を知って頂くために、簡単に当日の様子をお知らせします。

各担当から、第1号議案について説明があり、原案の通り了承されました。
長坂委員から、第2号議案について説明があり、原案の通り了承されました。
グループ委員、監査委員、全国委員について、第3号議案のとおり選出されました。

(意見)

Zoom 会議の場合の研究交流会費の支出はどのような費目とするか

(回答)

交通費とするのは難しいので、謝礼としての支払いについて検討する

(意見)

今後の地域グループ報のありかたをどうしていくか

(回答)

Web での発行とするので、ブログ形式なども考えられるが、現時点では今の誌面を継続する。コンテンツの大部分がセミナー報告なので、Zoom 開催となった時にどのように対応するか、検討が必要であると思われる。

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017 年度(2016 年 7 月～2017 年 6 月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行し 5 年目となりますが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしくお願いいたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュー店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。